恭賀新年

杜都
（第24号）
発行
東北方面特科隊
協力会・仙台ＯＢ会

東北方面特科隊長
一等陸佐　澤﨑　伸二

新年明けましておめでとうございます。
東北方面特科隊協力会並びに東北方面特科隊ＯＢ会の皆様、そして隊員ご家族の皆様には輝かしい新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、特科隊検閲を受閲し、コロナ禍においても隊員は真摯に取り組み、大きな成果を上げることができました。これも協力会・ＯＢ会やご家族皆様の温かいご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。
また、昨今の新型コロナウィルス対応の継続や台風等の自然災害が頻発するとともに、昨年二月ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射など、東北地方においても周辺情勢の厳しさを感じさせる事象が生起し、我々は「国民のために何を為すべきか」を強く感じさせられます。
このため、方面特科隊は新たな時代に向けて引き続き精強な部隊を目指し部隊の練磨に努め、如何なる任務も完遂できるよう努力することが責務であり、本職が先頭に立ち全隊員一丸となって邁進できるよう取り組む所存です。
本年も皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまの更なる飛躍と健康を心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

東北方面特科隊協力会
会　長　小島　孝

新年明けましておめでとうございます。
澤﨑隊長はじめ隊員の皆様、隊員ご家族の皆様、ＯＢ会並びに協力会の皆様には、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
昨年中は、いまだ収まらないコロナの影響により、協力会の活動も制限されておりますが、関係各位のご理解と、お力添えを頂き心より感謝申し上げます。コロナの影響が続く中でも、日夜あらゆる訓練・業務に精励されております隊員の皆様には心より敬意を表しますとともに、今後も国家・国民・ご家族の為、コロナに負けることなく、任務に邁進されますようご祈念申し上げます。
本年も私共協力会は、皆様との交流を通じ、相互のご理解と信頼を深めるとともに、出来る限りのご支援ご協力を致したいと考えております。
東北方面特科隊の更なるご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈りして新年のご挨拶といたします。

東北方面特科隊仙台ＯＢ会
会　長　野口　俊彦

新年明けましておめでとうございます。
特科隊の皆様、協力会並びにＯＢ会の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたとお喜び申し上げます。
コロナ禍も四年目となり日常の状態となりつつあるとはいえ、未だ何かと制約の続く中、昨年のロシアのウクライナ侵攻、中国の力による現状変更、北朝鮮のミサイル発射等我が国を取り巻く安全保障環境は厳しい状況であり、国民の不安も相まって自衛隊に対する期待は、国民の間で益々増しているのではないでしょうか。
特科隊の皆様には、健康に留意しつつ任務を完遂されますようご祈念申し上げるとともに、皆様との交流が減少してはおりますが、ＯＢ会として微力ながらご支援したいと思います。
最後になりますが、会員皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

東北方面特科隊副隊長
一等陸佐　堀　次郎

新年明けましておめでとうございます。
着任以来約一年半がたちますが、コロナ禍により満足な挨拶も叶わないため、この場をお借りして着任の挨拶と平素からの協力会・ＯＢ会の皆様からの温かいご支援、ご協力に対するお礼とさせていただきます。
昨年は二年ぶりの特科隊検閲を受閲し、方面火力調整所の運営という指揮所訓練形式での検閲でしたが、方面総監部や各種調整所を実設した平素自隊で練成することが困難な貴重な訓練機会を得ました。本年もコロナ禍の終息は未だ見通せませんが、昨年と引き続きこの状況もまた練成の為の状況ととらえて、やるべきことを確実に実施して、引き続き物心両面の即応態勢を維持しつつ精強な部隊を目指して邁進する所存でございますので、変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

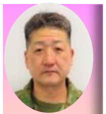
第四地対艦ミサイル連隊長
一等陸佐　遠藤　智明

新年明けましておめでとうございます。
第４地対艦ミサイル連隊は、昨年も即応態勢を維持しつつ、東北方面隊創隊記念行事や方面総監直轄部隊訓練検閲等への参加を通じて隊の任務達成に寄与することができました。また、昨年に引き続き、年度末の部隊改編に向けた準備を着実に推進しております。
さて、本年の干支である「癸卯」には「飛躍」、「向上」という意味があるようですが、本年は連隊にとり、令和５年度末に予定される部隊改編に向けた助走期間となることから、連隊が更に飛躍・向上できるよう、関係部隊と緊密に連携しつつ、常に「積極主動」の姿勢で任務を完遂する所存です。
本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

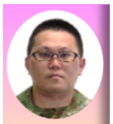
第四地対艦ミサイル連隊副連隊長　二等陸佐　生稲　学

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、多くの皆様方からのご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本年は、連隊の新たな改革の年となりますが、引き続き如何なる任務をも完遂し得る強い部隊・隊員育成に努めていく所存ですので、皆様の変わらぬご支援・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。
皆様方にとりまして輝かしい一年となりますことをご祈念いたします。



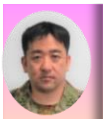
最先任上級曹長　准陸尉　多田　茂

新年明けましておめでとうございます。旧年は、皆様からの暖かいご支援・ご協力を賜り御礼申し上げます。本年も任務完遂に向け邁進する所存でございます。宜しくお願いいたします。



本部管理中隊長　一等陸尉　岡本　昌拓

新年明けましておめでとうございます。旧年は、皆様からの暖かいご支援・ご協力を賜り、御礼申し上げます。本年も各種事態に即応すべく練度を向上し、引き続き任務完遂に向け邁進する所存であります。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。



第一中隊長　一等陸尉　戸来　貴

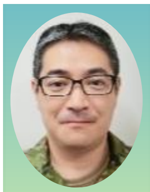
新年明けましておめでとうございます。
中隊は昨年、ＫＳ等各種訓練に参加し、任務遂行能力向上させることができました。
本年も中隊一丸となり、各種任務に励んでいきますので、変わらぬご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第二中隊長　三等陸佐　尾身　彰久

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、第２中隊へ多大なるご高配を賜り、御礼申し上げます。
本年も最後まで、任務を完遂できる精強な地対艦ミサイル中隊・隊員としての練度を維持向上していきます。変わらぬご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

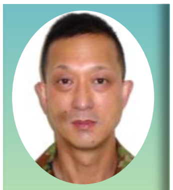
東北方面特科隊　最先任上級曹長　准陸尉　松森　良幸

新年あけましておめでとうございます
協力会・ＯＢ会並びにご家族の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに平素からのご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます
本年も各部隊、最先任上級曹長及び先任上級曹長とともに連携を密にし、歴代最先任が築かれた歴史と伝統を引き継ぎ、プロ意識を持ち効果的な指揮官補佐ができるよう努力いたします今後とも引き続きご指導、ご協力宜しくお願い致します。



本部中隊長　三等陸佐　羽賀　龍也

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は中隊への多大なるご高配を賜り御礼申し上げます。
中隊は、現在体制移行に向けた業務に日々邁進しております。そのような中でも、あらゆる任務へ即応し、いかなる状況においても任務を完遂できる本部中隊を目指しております。
本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第三〇四観測中隊長　一等陸尉　菅野　一貴

新年あけましておめでとうございます。
昨年中は、皆皆様の温かい御理解・御支援に感謝申し上げます。
本年につきましても「明るく！楽しく！前向きに！」を合言葉に、第３０４観測中隊が終焉を迎えるその時まで、任務達成に向かって兎躍してまいりますので、あと少しの御協力・御付き合いのほど、よろしくお願い致します。

年男

本部管理中隊　三曹　佐々木　秀輔

私はこの年男を節目として、新たな気持ちで今一度気を引き締め、陸曹としての自覚を持ち、係業務や通信陸曹として技術の向上に努め、後輩に見られても恥ずかしくない陸曹を目指し、次の年男まで更に自信を持てるように頑張っていきたいです。

第一中隊　二曹　田村　幸太郎

新年明けましておめでとうございます。連隊に所属して２回目の年男を迎えることができました。卯年の今年の抱負は、
うきあし（浮足）立たず
さきの事を見据えて
ぎりぎりであったとしても
どんと構えて
しんねん（信念）曲げずに頑張ります。

本部中隊　三曹　横田　巧弥

旧年は一月早々、足の骨を折り自由に動けない時期がありました。今年は怪我に十分気を付けて、ウサギのように機敏に動いて頑張っていきたいと思うピョン。

観測中隊　二曹　加藤　和也

新年明けましておめでとうございます。年男としての抱負は、兎の様に飛び躍ねられるよう様々な業務に挑戦していく事です。皆様にとりまして良い年になります様に！

新副連隊長紹介

氏名
いくいね まなぶ
生稲　学

出身地
北海道美唄市

幹部部隊歴
H30・3　9特1大隊長
R2・3　東北方面特科連隊 第2大隊長
R2・8　西特隊3科長

新本部中隊長紹介

氏名
はが　たつや
羽賀　龍也

出身地
青森県青森市

幹部部隊歴
H20・3　第130特科大隊 1中隊長
H23・3　自衛隊札幌地方協力本部 総務課

特科隊訓練検閲

隊は、10月17日～20日までの間、仙台駐屯地において、特科隊訓練検閲を実施した。
隊は「方面隊の本格侵攻対処における火力戦闘」の任務を付与され、三夜四日にわたる連続状況下において、本訓練検閲を目指して練成を重ねた訓練成果を遺憾なく発揮して、与えられた任務を完遂し、「概ね良好」の評価を得た。

方面記念行事

隊は、9月24・25日に仙台駐屯地で実施した東北方面隊創隊62周年記念行事に記念コンサート、記念式典、観閲式の支援に参加した。
その功績により東北方面総監から本部中隊瀬川曹長・観測中隊北川２曹が褒章状を授与された。

第４地対艦ミサイル連隊

令和４年度射撃中隊訓練検閲

第４地対艦ミサイル連隊は、令和４年６月14日（火）～16日（木）の間、八戸駐屯地及び八戸演習場において２夜３日にわたり、令和４年度射撃中隊訓練検閲を実施した。

本検閲にあたり、遠藤連隊長は、「生き残れ」「頭を使え」「執念を持て」の３点を要望し、各自が肉体的・精神的にも疲労困憊する過酷な環境下においても、あらゆる手段を尽くして生き残り、国民の生命と財産を守り抜くことの重要性を強調した。

本検閲は、中隊長の指揮、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を主要演練項目として実施したが、各中隊は安全管理を徹底しつつ、疲労困憊や各種脅威といったあらゆる困難を乗り越え、練成を重ねた訓練成果を遺憾なく発揮して、与えられた任務を完遂した。

第１中隊

第２中隊

連隊ＳＳＭ戦技競技会

第４地対艦ミサイル連隊は、令和４年３月28日（月）～30日（水）及び７月20日（水）に連隊ＳＳＭ戦技競技会を実施した。

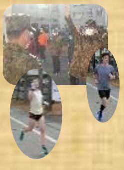
本競技会は、地対艦ミサイル連隊射撃中隊以下の戦技能力を向上させるとともに、部隊の団結強化及び士気の高揚を図ることを目的に実施された。各中隊は日ごろの訓練成果を十分に発揮し、勝利のために全力を尽くした。

射撃小隊の部　第１位　第１中隊

射撃統制組の部　第１位　第２中隊

本部中隊

中隊持続走競技会
【11月25日】



陸曹候補生指定　令和4年7月1日

鈴木　章浩
福島県（広野町）
常に向上心を持って行動できる陸曹を目指します。

三塚　圭悟
宮城県（栗原市）
中隊にしっかりと貢献できる陸曹になります。

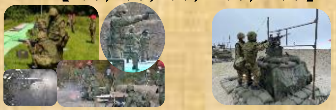
小野　篤志
宮城県（亘理町）
立派な陸曹になり、少しでも中隊に貢献できるよう頑張ります。

体力検定
【6月，7月，8月，9月，11月】

特科隊訓練検閲
【10月17日～20日】

4月18日 小畑曹長
6月7日 志久保曹長
10月8日 加藤３尉
10月8日 髙橋３尉
11月2日 安原准尉

各種射撃練成・検定
【4月，7月，9月，10月，11月】



演習場統一整備
【春季5月，秋季10月】

救急法練成・検定訓練
【7月，8月，9月】

格闘練成【通年】

第304観測中隊

演習場整備

各種訓練

競技会